

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしやげきだんども		団体ウェブサイトURL	
	有限会社劇団銅鑼		http://www.gekidandora.com	
代表者職・氏名	代表取締役・横手寿男			
制作団体所在地	〒	174-0064	最寄り駅(バス停)	上板橋駅
	東京都板橋区中台1-1-4			
電話番号	03-3937-1101			
ふりがな 公演団体名	ゆうげんがいしやげきだんども		団体ウェブサイトURL	
	有限会社劇団銅鑼		http://www.gekidandora.com	
代表者職・氏名	代表取締役・横手寿男			
公演団体所在地	〒	174-0064	最寄り駅(バス停)	上板橋駅
	東京都板橋区中台1-1-4			
制作団体 設立年月	1972年8月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 横手寿男 運営委員 館野元彦 平野真弓 竹内奈緒子 亀岡幸大 齋藤裕樹 監査 福田悦雄		(1)主な構成員 団員60名 構成員補 1名 団友3名 (2)主な構成員 佐藤文雄(俳優) 菊地佐玖子(俳優) 谷田川さほ(俳優) (3)加入条件 構成員として一定の期間を終了したもの	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く		本事業担当者名	齋藤裕樹
経理処理等の 監査担当の有無	有		経理担当者	佐久博美
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	info@gekidandora.com			

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>1972年 劇団民藝出身者を中心に演劇集団として活動を開始。 1990年 本拠地を板橋区に移す。 1994年 初の海外公演実施(リトアニア)、以来国際交流事業を一つの柱にする。 1995年 板橋区文化振興財団(現・(公財)板橋区文化・国際交流財団)との年一回以上の共催事業を開始。 2005年 若者自立塾などにおける演劇によるワークショップ事業開始。 2012年 稽古場を建設。劇場認定を受ける。</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>1978年より青少年公演開始。主な作品に『センボ・スギハアラ』『明日への出発』など多数。年間50～100回学校で上演を続けている。『いのちの花』は2018年より小学校・中学校合同公演や高等学校公演、全国おやこ劇場子ども劇場例会として上演。合計232ステージを実施。 また令和元年度～3年度には文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業- 令和4年度～5年度には文化芸術による子供育成推進事業-巡回公演事業-として選定されている。 提出作品の『「真っ赤なお鼻」の放課後』は令和6年度学校巡回公演事業に選定されている。</p> <p>主な学校公演作品 『明日への出発』『センボ・スギハアラ』『Big brother』『エイジアン・パラダイス』『らぶそんぐ』『チャージ』 『ハンナのかばん』『いのちの花』</p> <p>(直近・学校公演のみ) 令和3年度『いのちの花』全国8か所17公演 令和4年度『いのちの花』全国10か所23公演 令和5年度『いのちの花』全国18か所28公演 令和6年度『いのちの花』全国9か所20公演 『「真っ赤なお鼻」の放課後』全国11か所14公演(予定)</p>		
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>多数作品で、特別支援学校で上演。事前に資料・台本などの配布で対応。盲学校に対してはイヤホンガイド付き公演、聾学校では学校と共同で字幕作成を実施。</p> <p>舞台手話通訳付き公演の実績あり</p> <p>令和3年『いのちの花』舞台手話通訳付き公演 練馬文化センター 3公演 令和5年『ふしぎな木の実の料理法』舞台手話通訳付き公演 シアターグリーンBIGTREETHEATER 3公演</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/M8xr4nMR9x0</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p></p>
<p>PW:</p>		<p></p>	

別添	なし
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 有限会社劇団銅鑼】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	「真っ赤なお鼻」の放課後			
企画のねらい	子どもたちを取り巻く社会・家庭環境は年々厳しい状況の中、近年特に注目され社会問題になっている「ヤングケアラー」と、プロのクラウンが病院の小児病棟を訪問し子どもたちにひと時の楽しい時間を届ける活動を行うクラウンを題材に「子どもが子どもでいられる社会」「葛藤を持ちながらも希望を持って生きられる社会」の大切さを伝えます。 脚本には社会問題を扱いながらも心の機微を大切に、強い普遍性と現代のリアルのバランスを保つ丁寧な劇作の大西弘記。演出には国内外での演出活動を中心に子どもたちの為の演劇教育にも力を入れている大谷賢治郎。 未来を担う若者をはじめ、今を生きる全ての人たちに贈る作品です。			
演目概要・演目選択理由	高校2年生になる青砥雛子は卒業後の進路について悩んでいた。それは進学や就職に対して未来への明るいビジョンがなかったから—医療事務の仕事を見学するため病院に行った雛子。そこにいたのは真っ赤なお鼻のクラウンだった。 何かをやりたいとか、何かになりたいとか、そういった何かがあった雛子にやっと芽生えた夢の蕾。その蕾を咲かせるために沢山の情熱、そして挫折とも向き合ってゆくなか、雛子にはどうしても応援したい存在がいた。それは母の介護により、音楽の夢を諦めてしまった幼馴染の陽人だった。 現代の若者が純粋な夢と出逢い、現実のなかでたくさんの葛藤を抱えながら、ひとりの人間として成長してゆく... 意地らしくも可愛らしい若者たちのお話。			
児童・生徒の参加又は体験の形態	物語中盤でクラウンたちが出てくるシーンにクラウン役として出演。 事前ワークショップを経て自分なりの衣装を考え、俳優と共演する。 また、物語終盤に歌を歌うシーンがあるので、事前に音源を渡している曲をそこで一緒に歌う。 他にも搬入・搬出のお手伝いなどを通じて、俳優・スタッフたちとの交流も出来ます。 終演後に出演者1~2名と座談会も可能。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	30名	
		鑑賞人数目安	500名	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	作:大西弘記 演出:大谷賢治郎 公演時間 100 分			
出演者	横手寿男・館野元彦・永井沙織・庄崎真知子・竹内奈緒子・山形敏之・齊藤美香・山口真実 ※上記俳優は予定です			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	大谷賢治郎(演出):サンフランシスコ州立大学芸術学部演劇学科卒。児童劇から人形劇、古典から現代劇、市民劇から国際的コラボレーションまで様々な形態の舞台芸術を演出する。 大西弘記(作):伊藤正次演劇研究所に入所、後2006年TOKYOハンバーグを立ち上げる。社会問題を取り扱いながら「心の栄養」をモットーにした強い普遍性と現代リアルのバランスを保つ丁寧な劇作・演出に定評あり。受賞歴多数。 齊藤美香(俳優):今作品の主演俳優(予定)。円演劇研究所を経て劇団銅鑼入団。今作品以外にも昨年まで『いのちの花』で巡回公演事業にも参加。劇団仲間『森は生きている』等客演多数。今後の活躍に期待される俳優。			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 8 名 スタッフ: 10 名 合 計: 18 名	運搬	積載量: 4 t 車 長: 8.8 m 台 数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		有		前日仕込み所要時間		5		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去		退出		
	8時	8時～13時 11時過ぎ出演児童リハーサル (授業1コマ分)		13時30分～ 15時10分	0分	15時30分～17時		17時30分		
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。									
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月		7月		8月		9月			
	10日		5日		0日		10日			
	10月		11月		12月		1月			
	15日		0日		0日		0日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計		40日		
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) <small>※採択決定後、図面等の提出をお願いします。</small>					<p>(図1) 体育館ステージに舞台を設置した状態。上下に照明機材あり。</p> <p>舞台設置に必要な面積 奥行5.4m以上 (張り出しなし) 3.8m～5.3m (張り出しあり) ※3.8m以下の場合 (図2) の平土間での状態になります。 間口10m以上 高さ (舞台上～文字まで) 4.5m以上</p>					
					<p>(図2) 平土間 (体育館フロア) 設置状態 (図1) 同様上下に照明機材あり</p> <p>ステージ前～5.4mを芝居で使用。 そこから2mの間隔を取って着席頂きます。</p>					
<p align="center">【搬入時の注意点】 機材カーゴサイズ 高さ171cm 奥行80cm</p> <p align="center">【電源】 75A以上必要</p>										
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否			該当なし		該当コンテンツ名				
	該当事項がある場合	権利者名				許諾確認状況				

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 有限会社劇団銅鑼 】

ワークショップのねらい	演劇の良さは、「実際には違う生き方や状況、考え方を、想像力によってその登場人物の立場になって疑似体験できる」ことです。 夢や、当事者性をテーマにしたシアターゲーム、ワークショップをやっていくことにより、「相手に寄り添うこと」、「相手の為に行動すること」を疑似体験し、また「夢や将来」について考える機会を提供します。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	30人
ワークショップ実施形態及び内容	<p>標準:100分</p> <p>事前に各自で「呼ばれたい名前」を養生テープにマジックで書いて貼ってもらいます。本名に限らず「呼ばれたい名前」にすることで、普段とは違う自分、相手を発見する一助とし、創造的な空間を作ります。</p> <p>■シアターゲーム(10分) 人数や年齢に合わせたシアターゲームを行います。ゲームを楽しみながら緊張を解いていき、より創造、表現を発展させやすい関係性を築いていきます。その流れの中で、徐々に演劇体験に入っていきます。</p> <p>■ジェスチャー伝言ゲーム(15分) 言葉を使わずに伝言ゲームを行い、身体全体を使った表現へと発展させていきます。</p> <p>■笑顔ワーク(15分) どうやったら人は「楽しい」と感じるのか、相手の気持ちになって考え、共有し、それを演劇的手法を使い形にし、見せ合います。</p> <p>《休憩(10分)》</p> <p>■夢を語る(25分) 各自、夢を3つ書いてもらい、シアターゲームの手法で「今日の夢」をひとつに絞ります。それぞれの「今日の夢」をシャッフルし、その夢を書いた人の気持ちになって発表し、共有します。</p> <p>■公演の話(20分) 出演シーンや、やってもらう役(クラウン)の説明をします。 その場面の場所、何が行われているのか、クラウンとは何か、何をやる人かななどを、実際にクラウン芸を見せながら説明します。 また、実際にシーンを見せて、登場人物たちがどういう心情に見えるかななどを共有していきます。</p> <p>■歌の練習(5分) 事前に音源と楽譜を渡し、練習しておいてもらいます。 ワークショップ当日に、一度歌ってみます。</p> <p>※時間があれば、本日の感想などを皆で話し、共有します。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

有限会社劇団銅鑼

】

①本事業に対する取り組み姿勢

子どもたちが、生の演劇に触れ、鑑賞するだけではなく、舞台芸術家との触れ合いを通して、発想力・コミュニケーション能力を高め、将来の舞台芸術家・鑑賞者となるよう育成に務める。そのためには、巡回公演に参加する俳優・スタッフとともに、本事業の目的を理解することはもちろんの事、各学校の状況などを十分に周知し、打ち合わせを行っている。

特にワークショップに関しては、子どもたちが自由な心で参加できるよう配慮し、また、派遣講師及び補助俳優の資質を高めるために研究・鍛錬を日常的に行い、より良いワークショップができるよう積極的に講習会への参加・研修会を行っている。

また、主催校の担当及び管理職とも十分な意思疎通ができるよう、細かなコミュニケーションを行い、本事業への理解を深めてもらえるよう務めている。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

●事前に準備して頂くこと・ワークショップの内容・当日の流れなどを分かりやすく説明した文書をお送りした後、電話などで確認・説明。

●地域での広報活動・保護者などの参加例をご説明し、事業の内容目的を説明。

●ワークショップで学校を訪問する前に、学校を訪問もしくは電話などで準備状況などを確認。

●先生方にもワークショップの参加を促し、子どもたちがどのような体験をしているのかを実感していただく。

●ワークショップ当日、会場確認を先生立ち合いで行い、ご説明しながら、公演当日の細かい打ち合わせの実施。

●公演日のリハーサルから本番まで、俳優が生徒さんたちに付き添い、安心して出演できるようにしています。

●打ち合わせからワークショップ、公演当日までを分かりやすく劇団HPに掲載。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫